



2019年2月12日

各位

会社名 株式会社ジオネクスト
 代表者名 代表取締役社長 楊 暁軍
 (コード: 3777、JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸
 (TEL. 03-6261-0081)

2018年12月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年5月14日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	2,000	80	61	53	0.49
実績値 (B)	1,879	10	△ 29	△ 52	△ 0.42
増減額 (B - A)	△ 121	△ 70	△ 90	△ 105	—
増減率 (%)	△ 6.1	△ 87.5	△ 147.5	△ 198.1	—
(参考)前期連結実績 (2017年12月期)	1,297	57	17	14	0.14

2. 差異の理由

当社グループの主力事業である再生可能エネルギー事業では、発電所の開発及び取得、第三者への売却並びに売電事業等を行っており、当社グループの棚卸資産(2,191百万円:2018年12月31日現在)であります発電所につきましては、第三者への売却について、発電所毎に発電所施設の立地条件や設備容量等を鑑みて発電所毎の利益目標を設定し営業活動を行っております。

当社が2018年12月期中に計画しておりました当社連結子会社であるエリアエナジー株式会社が保有する太陽光発電所の売却計画について、2018年12月期第2四半期までは計画通りでありましたが、同期第4四半期中に売却を計画しておりました2箇所の太陽光発電所(合計設備容量約1,000kW)の売却について、売却候補先との交渉に時間を要して発電所売却における利益目標以上の取引成立を2018年12月期中に達成できなかったことにより、当初予想しておりました2,000百万円の売上高が1,879百万円となり、それに伴い営業利益及び経常利益の実績が予想を下回りました。

また、エリアエナジー株式会社において開発中であった太陽光発電所(2箇所の太陽光発電所(合計設備容量約100kW))について、外部施行会社へ建設費の前払金を支払っておりましたが、当該施工会社が当該太陽光発電所の建設を中止したため、エリアエナジー株式会社が当該施工会社に対して前払金の回収を行っていましたが、回収可能性に懸念が生じたとの判断から、貸倒引当金として16百万円を繰り入れたことが主な要因として、株主に帰属する当期純利益、1株当たりの当期純利益の実績が予想を下回りました。

2019年12月期以降に、引き続き売電による安定した収益を上げつつ当社グループの中期的な観点での利益を獲得する発電所売却取引の成立を目指した営業活動を継続する予定であります。

以上